

## 施設評価基準案

## 1 4つの観点からの評価

各施設について、以下の4つの評価の観点から評価します。

各観点のチェック項目を総合的に考慮して、観点ごとの評価(高・低)を判断します。

評価の観点	観点の説明	チェック項目
不可欠性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令により設置が義務付けられた施設であるか</li> <li>市民の生命・身体の保護に不可欠な施設であるか</li> </ul>	国県の所管する法令による必置義務 施設の機能(市民の生命・身体の保護に不可欠な医療、消防施設等であるか)
民間・他自治体活用可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が利用可能な同種施設が民間、他自治体等にも存在するか</li> <li>民間、他自治体等への移譲、連携が可能か</li> </ul>	民間、他自治体、国が保有する同種施設 具体的な移譲・連携先の目途
施設活用度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設は十分に活用されているか</li> <li>施設設置目的に合った活用がなされているか</li> <li>活用度に見合った運営コストとなっているか</li> </ul>	稼働率、利用者数 床面積(利用者1人あたり等)、未活用スペース 施設利用目的、施設利用者の属性 運営コスト
他用途への活用可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の転用が容易に可能か</li> <li>転用しても安全性が保てるか</li> <li>転用しても必要な利便性が確保できるか</li> <li>転用後に活用度に見合った運営コストになると見込めるか</li> </ul>	老朽度 耐震性能 バリアフリー設備状況 専用設備の多少 立地条件 運営コスト

## 2 取組手法の導出

1で判断した4つの観点の評価結果の組み合わせによって、以下のとおり、各施設の取組手法を導き出します。

類型	不可欠性	民間・他自治体活用可能性	施設活用度	他用途への活用可能性	取組手法
1	高	高	高	高	民営化、他自治体連携又は継続
2	高	高	高	低	民営化、他自治体連携又は継続
3	高	高	低	高	民営化、他自治体連携又は転用
4	高	高	低	低	民営化、他自治体連携又は廃止
5	高	低	高	高	継続
6	高	低	高	低	継続
7	高	低	低	高	複合化又は集約化
8	高	低	低	低	集約化又は継続
9	低	高	高	高	民営化、他自治体連携又は転用
10	低	高	高	低	民営化、他自治体連携又は廃止
11	低	高	低	高	転用又は廃止
12	低	高	低	低	廃止
13	低	低	高	高	複合化、集約化又は継続
14	低	低	高	低	集約化又は継続
15	低	低	低	高	複合化、集約化又は転用
16	低	低	低	低	集約化又は廃止

## 3 運営の効率化

施設評価の結果に関わらず、すべての施設について、以下の項目等を検討し、運営の更なる効率化を図ります。(廃止する施設についても廃止までの間の効率化を図ります。)

- 運営コスト
- 庁内他部署との兼務・連携
- 指定管理・業務委託の状況
- 市民との協働の状況
- 受益者負担の状況
- 床面積
- 未活用スペース